

<株式会社エフエム東京 第 501 回放送番組審議会>

1. 開催年月日：令和 5 年 9 月 5 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 11 階大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（5 名）

ロバート キャンベル 委員長

佐々木 俊尚 委員

山口 真由 委員

松田 紀子 委員

柴崎 友香 委員

◇欠席委員（1 名）

秋元 康 委員

◇社側出席者（6 名）

唐島 夏生 代表取締役会長

黒坂 修 代表取締役社長

内藤 博志 取締役編成制作局長

宮野 潤一 編成制作局次長 兼 編成部長

若杉 健太 編成制作局制作部長

山領 由紀 編成制作局制作部チーフプロデューサー

◇社側欠席者（0 名）

【事務担当 内藤放送番組審議会事務局長】

4. 議題：番組試聴（約 55 分／28 分）

『聴く百物語』

2023 年 8 月 13 日（日）19：00～19：55 放送のダイジェスト

《議事内容》

議題 1:最近の活動について

■2023 年 6 月度 聴取率調査結果

ビデオリサーチ 2023 年 6 月度の首都圏ラジオ合同聴取率調査結果を報告します（調査期間：2023 年 6 月 12 日～18 日）。今回も 6:00～24:00 の週平均におきまして、TOKYO FM は当社コアターゲット【男女 18～49 才】区分、また【男女 12～59 才】、個人全体となる【男女 12～69 才】の区分において、在京首位を獲得することができました。

- ◎【男女 18～49 才】首位 （※単独）
- ◎【男女 12～59 才】首位 （※LF と同率）
- ◎【男女 12～69 才】首位 （※LF と同率）

当社コアターゲット【男女 18～49 才】と【男女 12～59 才】区分は 22 年 2 月以来 9 期連続首位、さらに個人全体区分の【男女 12～69 才】では 22 年 4 月以来、8 期連続首位となり、在京ラジオ首位継続を更新することができました。各年代区分では上記のほか、【M1F1 (男女 20-34 才)】【M2F2 (男女 35-49 才)】、【男女 20 代】、【男女 30 代】、【男女 40 代】、【男女 50 代】とバランスよく各年代で首位を獲得することができました。

■番組イベント「山崎怜奈の誰かに話したかったこと。」『ダレハナ夏祭り』開催

平日午後 1 時から放送中の「山崎怜奈の誰かに話したかったこと。」では、8 月 11 日（金・祝）、番組初のイベント『ダレハナ夏祭り』を TOKYO FM ホールにて開催いたしました。ゲストに人気声優の花澤香菜や、放送作家の佐藤満春を招き、番組での人気企画の特別バージョンを上演。番組グッズの販売も行いました。

午後・夕方 2 回公演はチケットの抽選販売に応募が殺到しいずれも満席、オンライン生配信も実施。会場の観客も巻き込んだ演出に、イベントは大いに盛り上がりました。



▲集合写真



▲花澤香菜（左）と山崎怜奈（右）



▲佐藤満春(左)と山崎怜奈(右)

■番組イベント「Skyrocket Company」『スカロケ大盆踊り大会』開催

平日 17 時から放送中の「Skyrocket Company」では、8 月 20 日（日）、西新井大師の大師夏祭り会場にて、『スカロケ大盆踊り大会』を開催しました。

今年の 4 月で 10 周年を迎えた同番組は、10 代～60 代までの幅広い層に支持されており、周年記念イベントには老若男女が参加できる「盆踊り」を開催したいと放送で紹介したところ、番組リスナーであった西新井大師夏祭り実行委員から共同開催を提案するメールが届き、今回の開催へと繋がりました。

境内でのファンミーティングイベントを 2 回開催、番組グッズの販売、さらに、クライマックスにはオリジナル曲「スカロケ音頭」に合わせた振り付けの「スカロケ盆踊り」を実施。集った千人を超えるリスナーが、息を一つに合わせて、大盛況のイベントとなりました。



▲クライマックスの盆踊り

議題2：番組試聴

【番組名】

『聴く百物語』

2023年8月13日（日）19：00～19：55 放送のダイジェスト

【番組概要】

本日ご試聴いただくのは、8月13日（日）に放送した『聴く百物語』のダイジェストです。

『聴く百物語』は、講談社「小説現代」とタイアップし、31人の人気作家が書き下ろしした掌編怪談を、TOKYO FM パーソナリティ陣が朗読して、8月7日（月）からの1週間、各番組内でオンエア、及びオーディオコンテンツプラットフォーム AuDee で配信し、8月13日（日）19時から、山崎怜奈がパーソナリティをつとめる特別番組「TOKYO FM サンデースペシャル ラジオ聴く百物語」として放送しました。

放送に先駆けて、7月22日に発売の「小説現代」8・9月合併号には、原作の掌編59作品が一挙掲載。同号の巻頭インタビューには山崎怜奈が登場しています。



特集

TOKYO FM x 小説現代
「聴く百物語」人気作家が紡ぐ耳で聴くホラー集 12

ラジオでの朗読を前提に書き下ろされた、人気作家31人によるホラー掌編59編を一挙掲載。
何気なくつけたラジオから突然不気味な話が聞こえてくるかも……今年のはじめと耳の両方で百物語をお楽しみください。

豪華執筆陣

相沢沙呼 青戸しの 阿部暁子 乾ルカ 宇垣美里 大島てる 小川哲
カッセマサヒコ 神永学 川瀬七緒 鯨井あめ 小西マサテル 彩藤アサミ
紗倉まな 桜木紫乃 白井智之 白川紺子 背筋 長江俊和 夏原エキジ
新名智 平山夢明 深緑野分 丸山ゴンザレス 三津田信三 南杏子
嶺里俊介 宮内悠介 結城真一郎 芦花公園 和嶋慎治（人間椅子）

メインパーソナリティ 山崎怜奈 インタビュー 6・14

大の読書家でもラジオ好きであり、今回のラジオ番組でもMCを務める山崎怜奈さん。
過去に生放送したワックとする出来事も語っていただきます。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○大変面白く聴いた。最後に山崎怜奈氏がラジオドラマに組み込まれていく構図になっていて、聴いているリスナー側もラジオドラマにのみ込まれていくようになっていて、モキュメンタリー的な、ドラマと現実が混ざっていく感じみたいな作り方が面白いと思った。

○この番組を 1 人で夜中に聴いていたりすると、何となく異次元に迷い込むような感じになり面白いと思う。一方で、集中していないと聴き流してしまうとも感じた。うっかり聴き逃してしまって、戻してもう一度聴いたら「なるほどそうだったのか」と分かったこともあった。ラジオを聴き流している人も多いので、何だか分からないまま終わってしまうケースも結構多かったように思う。ラジオドラマというのは聴かれ方が難しいかもしれない、ということ考えた。だからといって、奇抜な音やフックを投げ込んで注意を惹く、というようなことはラジオに求めている人も多いと思うので、作品の面白さと聴き心地の両立は結構難しいのかなとも思う。それは逆にラジオの可能性がまだまだあるということにも繋がる。昭和初期は、みんなでお茶の間に座ってラジオを聴くという状況があったが、今はほとんどの人が 1 人でラジオを聴いている。パーソナリティ対自分という世界の中になっていて、もしかしたらもっとリスナーを巻き込んだラジオドラマのありようも考えられるのかもしれない。一方で、もっと踏み込んで新しい表現としてのドラマの可能性も実はあるのではないかと。具体的にどんなものかは思いつかないが、今回の番組を聴いてそう感じた。

○先ほどの意見にもあったが、確かにながら聴きには向かないと思う。私も、聴き直した部分があった。なので、AuDee での配信には向いている番組だと思った。

○テレビを見ていて、ワイプが必要なのかな？と疑問に思うことがあるが、この番組はラジオの中でラジオを聴くという構図で山崎怜奈氏が案内人をつとめたことに必然性があった。

○このようなアンソロジー的なものは、それをどういう順番で放送するかが重要だなと思う。

○普段、山崎怜奈氏の番組を聴いているので、この番組での山崎怜奈氏のコメントや話し方がいつもと違い、いつもは丁寧なのにこの番組ではどうしたのだろう、なんでこんなにテンションが高いのだろうと、聴いていて不安になったり、少し嫌な感じがしていた。それが最後のところで、それも含め入れ替わっているという演出だと気づき、ヒッチコック劇場のようで、まんまとハマっていたことも含めとても

面白かった。ただ、この面白さには、しっかり聴こうとして注意を向けて聴いていないと気づかないかとも思う。もし気づかなければ、山崎怜奈氏の話し方、何だか嫌な感じがするな、で終わってしまっていたのでは、という気がしてもったいないと感じる。

○BGM も含め、怪談はラジオにもってこいだと思った。夜に 20 分程度で聴けるような怪談話がレギュラーであってもいいかと思う。

○小説や物語とラジオは本当に相性がいいなと思っている。定期的にやってほしい。この番組の放送時間は 19 時からだったが、できたら夜中に聴きたいと思う。私はスピーカーで聴いたが、イヤホンで聴いた方がより怖いと思う。

○番組内で読まれていた作品はどれも個性的だったが、日本の現在のホラーのトレンドとして、ストーカーや都市伝説が人気があるのでこの番組にもそういう傾向があり、今はこういうリアルなところに怖さを感じるのかなと改めて思った。

○70 年代 80 年代の楽曲など、意外な曲がかかっている、選曲にも工夫があったように思う。

○朗読を担当した方の声がとても良かった。

○番組冒頭で紹介したジnkスの布石を最後に回収していて、精密にできていると感じた。

■頂いたご意見を参考して今後も取り組みたい。

6.議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送:番組「ドライバーズインフォ」

9月30日(土) 5:55~6:00 放送

② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <https://www.tfm.co.jp/>